



Title	KSVFベンチャービジネス大賞、及び優秀賞を受賞
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2001, 114, p. 19-19
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/3931
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

産業科学研究所 中嶋英雄氏
工学研究科 森 勇介氏
KSVF ベンチャービジネス大賞
及び優秀賞を受賞

本学産業科学研究所の中嶋英雄教授、工学研究科の森勇介助教授は、関西のベンチャー支援と起業家精神を取り戻すことを目的に関西経済同友会を母体として設置されたKS（関西シリコンバレー）ベンチャーフォーラムより、KSVF ベンチャービジネス大賞、及び優秀賞をそれぞれ授与されました。中嶋氏は「生体適合性に優れた革新的ロータスマタル医療器具」、森氏は「品質の優れた有機・バイオ結晶を安く大量に育成する技術」、という内容でそれぞれ受賞され、本誌の研究ノートに森氏の研究内容が記載されています。

KSVF ベンチャービジネス大賞、及び優秀賞は、新規産業創成につながりそうな大学等の知的財産（技術シーズ）を発掘し、コンテストを通じて産業界との交流を活発化させ、産業に結び付けるということを目的に、KS ベンチャーフォーラムが主催しているもので、上記目的に合致した優れた技術シーズに対する贈られる賞である。

中嶋氏のコメント

我々は現在、小渕前首相提案のミレニアムプロジェクトの1研究として「ポーラス金属を用いた高機能性医療器具の開発」研究を行っています。今後、仮に研究が順調に進み実用化しようとしてもその受け皿となる有力な国内企業が見当たりません。そこで、事業化支援の可能性を模索しようと考えてKSVFに応募しました。幸い大賞という光栄に浴することができましたが、この機会に事業化を展開させる方向にもっていけたらと思っています。開発される医療器具が高齢者のQOL（Quality of Life）の改善や健康基盤への大きな貢献ができるのではと期待を膨らませています。

森氏のコメント

研究室の理念として、大学ならではの基礎研究を実用化に繋げる、ということを目標に研究を行ってきましたので、今回の受賞は大変嬉しく思っております。高品質な有機結晶を簡単に育成するということを目標に、一緒に研究を行ってきた、吉村政志くん、高橋義典くん、岩井敬くん、常定英美さんに深謝いたします。この受賞が学生さんの励みになれば幸いです。